

平成27年度 学校評価

本年度の重点目標	キャリア教育を推進し、地域から信頼される学校をめざし、進路目標の実現、学習活動の充実、社会規範を主体的に遵守できる生徒の育成に努める。		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務 （総務部）	<ul style="list-style-type: none"> ・100周年記念事業の成功 ・PTA活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・同窓会、他分掌、PTAとの連絡を密にしながら計画的にすすめる。 ・西高祭やPTAの委員会活動を通じて、PTA活動を魅力あるものにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同窓会、PTA、学校（校内小委員会等）で連携しながら計画的に進め成功を収めた。 ・西高祭でのバザーや手芸講習会、大学訪問、社会見学、PTA通信の発行等、各委員会で工夫し魅力ある活動が積極的に行われた。
教務	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善 ・再テスト制度の整備 ・情報機器及び情報の管理と処理ソフトの開発・管理 ・セキュリティーポリシー対策の継続 ・学校教育活動についての積極的な情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業週間を設定し、お互いに公開、参観をすることで教員の授業改善につなげる。 ・成績不振者指導、再テスト実施、結果報告までの要項を作成し、業務の円滑化を計る。 ・各分掌等で必要とされる情報を管理する。また場合によっては編集加工などを施し提供する。 ・現在使われている各処理ソフトの改良、作製。 ・情報機器台帳の更新と教員用パソコン・USBの管理。 ・情報分類表の更新。個人情報を含む重要度Aの情報 の保有・管理状況を調べる。 ・公式ホームページの改良や積極的な利用についての方策を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習期間に合わせ、授業の参観をお願いしたが、実態としてはあまり行われていない。今年度、生徒の学習の分析を始めたので、来年度に向けて授業改善と公開授業について日程を詰めて行きたい。 ・制度的には確立されている。事前の生徒の指導など、運用面での問題もあるので、今後もさらに細部の修正などを行う。 ・新たな成績処理のシステムを作成し、成績処理を行った。今後は作動確認を早めに行い、より確実に正確な成績処理を行う。 ・大きな問題もなくセキュリティー管理ができた。 ・ホームページで部活動や学校行事、100周年式典など、様々な情報を発信した。
生徒指導 （生徒指導部）	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ指導の充実 ・交通安全指導 ・携帯・スマホへのマナー指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任・学年会と連携し、日常での徹底を図る。 ・自転車安全点検を実施する。 ・校内使用規定にしたがい、継続的に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体としては、落ち着きが見られる。しかし、身だしなみの継続的な指導が必要。職員全体で指導できる体制づくりを工夫することが課題。 ・自転車点検を実施することができ、意識の高揚につながった。雨天時の雨合羽の着用も多く見られるようになった。 ・授業時間帯の使用は減少した。さらに携帯・スマホとのつき合い方を考えさせたい。
進路指導 （進路指導部）	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の為すべきことを見つける支援 ・個々が将来の目標の元となる、卒業後の具体的進路の発見、それを達成する学力を蓄える支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は総合学習でサポーター講演会、COプレゼン大会に生徒主体で取り組む。 ・2年3年は、進路LTや、羅針盤を通して、目指す進路志望の発見や育成を支援するとともに、その実現に向けて今なすべきことを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も総学委員を中心とした生徒主体の協働活動である「360人主張」が無事終了した。夏休みのサポーター訪問、年末の社会人サポーターを招いた講演会は、生徒たちが社会とのつながりを肌で感じることができ、実に有意義である。今年度は、未来への夢を繋ぐ進路研究にあわせ、「本当の学び」についても十分に考える機会を与えた。人、未来、社会への3つのつながり ・広がりを感じていくことをテーマとしたこの総合学習を1年次に取り組むことは名西生が他にないの視野を持った高校生に成長する大きな糧となるだろう。 ・2年生は、後期補習への多くの参加、100名以上のプラス1の継続など、意識高く取り組めた生徒が後半目立ち、3年生へのよい準備となった。全体的にはまだ甘い生徒もいて不安な点もあるが、成績的には一段レベルアップした学年として、来年の進路実現は大いに期待される。

			<ul style="list-style-type: none"> ・3年はセンター試験に330名以上が参加。この1年間の生徒の努力・成長は学年全体として高く評価できる。センターの結果も近年では最高であり、特に心配であった理型の挽回は目覚ましい。 ・進路部新体制5年間、名西生は進路実績でもまた学習に対する姿勢でも先生方の支援により大きく変貌した。現3年生もある程度の進路実績を残すことが予想され、1・2年生の成長も併せると名西は進路面・学習面で新たなステージに入った考えられる。この局面で次に本校が目指す形を職員皆で考え、協議し、そして共有することが、この幸運な流れを持続する重要なカギであろう。
保健 (保健部)	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら心身の健康管理のできる生徒の育成と教育相談の充実 ・学校環境の美化・整備への積極的取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の健康管理を徹底させるために健康チェックを行い、健康相談及び教育相談を実施する ・ゴミ減量・分別の実践及び清掃の充実を徹底する 	<ul style="list-style-type: none"> ・出欠調査や保健室来室生徒の対応により、健康状態を常時把握し、その指導について他の分掌やカウンセラーと連携を取り組織的な対応ができた。 ・ゴミの減量や分別については徹底には至らなかった。生徒の美化意識向上も含めて今後も粘り強く呼びかけていく。
図書 (図書部)	<ul style="list-style-type: none"> ・読書への興味と関心を高める ・文化的行事の円滑な準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書、学習センターとしての機能の充実 ・校内外の緊密な連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館オリエンテーション、読書感想文コンクール、展示や広報等の図書委員会活動、幅広い図書の選定などにより、生徒の読書・学習活動を支援することができ、更新された視聴覚機器の使用法を伝達して利用の便を図ることができた。 ・28年度文化的行事に関して日時、会場、公演内容を校内外の連携によって円滑に準備することができた。来年度に向けて、再来年度(29年度)文化的行事の新たな会場の選考、移動等を含めた日程の調整が課題である。
生徒会 (生徒会部)	部活動と学校行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・西高祭を中心とした生徒会行事の充実を図る ・生徒議会・各委員会等の日常の活動をさらに活性化させる。 ・部活動を充実・発展させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・西高祭では、生徒会総務中心に意欲的に取り組み、HR発表、マスコット、応援ともに生徒の生き生きとした光景を見ることができた。 ・毎月の青春謳歌の広報活動を充実させることによって、部活動の活躍なども全校生徒へ周知することができた。 ・部活動連絡会議などを通して、生徒の意識の向上に努めた。全体的には成果の上があった部活が多かったように思う。
1年生	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの本質を追究する学習姿勢の確立 ・類型・進路選択への主体的な取り組みとあり方生き方や職業観の醸成 ・部活動や学校行事への主体的な取り組みとチャレンジ精神の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ学ぶのか、何を学ぶのか」という学びの本質を追究する」ことを機会ある毎に訴える。 ・各教科と学年で教科の指導内容を具体的に共有し、学年全体で指導にあたる。 ・適時に学習時間や状況を把握し、全体指導や面談指導にいかす。 ・進路指導部、教務部と連携し、あり方生き方や職業観をもとにした進路目標を主体的に考えさせる。 ・西高祭などの行事に生徒が主体的に取り組むための支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年通信等でその重要性を訴えたり、面白さを感じた学習内容を生徒に記述させ、教科担当にフィードバックするなどの活動を行った。 ・1学期中間考査後と西高祭後に学年としての学習時間調査を行い、集計結果の生徒へのフィードバックを行った。 ・3学期の総合学習において大学受験の基本事項や学部学科の学習、レコーディング学習帳の記述などを集中的に行い、学習意欲を喚起し、一定の成果を見た。 ・総合学習における進路学習や、余裕を持った類型説明会の実施により、順調に類型選択指導を行うことができた。 ・行事や部活動にもよく取り組んでいる。HR発表等では内容的にはまだ深みが足りないものの、見せるための工夫がされている発表が多かった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・初期指導だけでなく、合同LTなどを活用して継続的な働きかけを行う。 ・遅刻の多い生徒や身だしなみで注意すべき生徒については、生徒指導部と連携して早期の指導に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み明けに欠席が増えた生徒には、早めの家庭連絡等と情報共有により、状況に応じた対応ができた。 ・全体として落ち着いた生活をしており、身だしなみや遅刻など比較的良好である。しかし、大人としての規範意識を持つには至っておらず、引き続き指導していきたい。 ・年間を通し、担任輪番で原稿を書き、充実した内容の学年通信を発行することができた。
--	--	---	--

<p>2年生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの将来を見据えた進路意識の育成と適切な類型指導 ・実力を蓄積する学習習慣の確立 ・学校行事への主体的な取り組みによる人間力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・教務部、進路指導部と連携し、生き方や職業観をもとにした進路目標を確立させる。 ・各教科、教務部、進路指導部と連携し、考査前自習室の開放、学習記録調査などを計画的に実施する。 ・修学旅行や西高祭などの行事に生徒が主体的に取り組むための支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文Ⅰ、文Ⅱの類型選択など、担任面接を通じて慎重に実施した。進路目標を具体化するため、各自に考えさせる取り組みを実施し、今後の進路実現への原動力としたい。 ・日々の授業への取り組みは落ち着きを見せ、後期補習・模試への多くの参加やプラスワン学習への100名を超える取り組みを見ても、個々の向上しようという態度が見られた。この流れを次年度にさらに高めていきたい。 ・新たに始まった広島・四国への修学旅行を生徒が満足でき、次年度につなげる形で無事に終えることができた。西高祭では近年の盛り上がり維持するレベルの内容を、応援・マスコット・模擬店などで示すことができた。3年生を送る会も2年生の実行委員会を中心に心温まるものを作り上げた。
------------	---	---	--

<p>3年生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路希望の実現と人間的成長 ・受験生として必要な学習習慣の確立とその支援 ・学校行事への積極的な取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の充実が進路希望の実現に向けての基本であることを再確認させる。 ・進路指導部との連携し、適切な助言、指導を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 補習への積極的参加 全国模試の受験 推薦、AO入試への適切な対応 ・土曜日や業後の自習室の設置 ・高校生活最後の生徒会行事となる西高祭に積極的に取り組むよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受験科目以外の学習についてはやや取り組みの甘い生徒もいたが、全体的には最後までしっかりと授業を受けるという姿勢が見られ、地道に努力することの重要性を再認識させることができた。 ・補習への参加や模試の受験については積極性が欠けたところが見られたが、大学入試センター試験は例年より多い生徒が受験した。進路検討会とその後の担任面談の結果、希望者の多くが国公立大学へ挑戦することになった点は大きな成果であると言える。また推薦、AO入試に対しても丁寧に担任面談を実施し、適切な出願ができた。 ・自習室は土曜日や業後だけでなく、早朝も利用した生徒もおり、多くの生徒がしっかりと学習習慣を身につけることができた。 ・文化祭のステージ発表も、教室発表も生徒が中心となり積極的に取り組むことができた。体育祭でも有志による3年応援だけでなく、各競技にも意欲的に参加し、良い思い出となったと思う。
------------	--	--	---